

産業建設常任委員会記録

平成29年6月23日

【開催日】 平成29年6月23日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後3時35分～午後4時6分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	長谷川知司
委員	岩本信子	委員	杉本保喜
委員	松尾数則	委員	山田伸幸

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

副議長	三浦英統
-----	------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

局長	中村聡	庶務調査係書記	梅野貴裕
----	-----	---------	------

【審査事項】

- 1 地域公共交通について
- 2 閉会中の継続調査事項について

【会議の概要】

- 1 地域公共交通について

中村博行委員長 6月議会の議会報告会において地域公共交通の報告を行う。

5月30日の委員会で提出された資料4を提示することになっているが、平成28年3月に頂いた公共交通網形成計画に載っている将来イメージの図も提示してはどうか。

杉本保喜委員 将来イメージの図については、理由付けができない。

中村博行委員長 資料4は先日の話合いで決まっているが、行政が公共交通網形成計画の中で示している将来イメージの図も持つておくべきではないかと思う。

山田伸幸委員 目指すべき方向として玉野方式を具現化したほうが分かりやすいと思う。玉野市の場合は、東西でメインのバス路線にデマンドタクシーをつなげて、どこでも行けるようにしている。この図では何をしたいのかよく分からない。私は厚狭駅から理科大までを一本の線を結び、その周辺をデマンド交通で結ぶということをイメージしている。

岩本信子委員 同意見である。この図では、地域がよく分からない。

杉本保喜委員 玉野市のプランが本市に使えるのではないかという思いが強い。例えば図の青い部分はデマンドタクシーで、赤い線は路線バスというようなことであれば理解もしやすいが、この図では具体例が見えないと思う。

中村博行委員長 この図は市の方向性を示したものとして出そうと考えていた。それに対する委員会の方向性は入れなければならない。

山田伸幸委員 一般質問の答弁では、既存のバス会社を尊重するとしか聞き取れなかった。バス路線に限るのではなく、南北を貫く幹線に乗継拠点を設けて、デマンドタクシーや小型バスを網の目のようにつないでいくというものにしていかなければ、公共交通網は成立しないと思う。

中村博行委員長 本当に喫緊の課題であり、皆さんは住民の声も聞かれていると思う。

山田伸幸委員 私たちが現在行っている市民アンケートの回答では、デマンド交通に対する要望が目立っている。これは決して周辺部のことではない。また、免許証を返納した方は、返納してから初めて便利が悪いことに気付いたと言われていた。免許証の返納を進めるのであれば、安心して返納できるような提案をしなければならない。

中村博行委員長 委員会の方向性としては、玉野方式を具体化するということである程度決まっていると思う。行政は、資料4の図からすると他市に比べてかなり網羅されているという言い方をしている。現実はそのようではないということを説明し、それに対する意見を求めるために今回の将来イメージ図を出したということである。

松尾数則委員 例えば下関から宇部中央まで、美祢から宇部中央までの路線を幹線としてきちんと残して、そこから派生させていくことがうまく

いく手段ではないかと思う。

岩本信子委員 一番大事なものは新幹線厚狭駅から理科大までを結ぶ線を一つの動脈として、あとはデマンドにするというようなまちづくりが必要ではないか。この交通網では理科大が外れているように思う。

松尾数則委員 公共交通機関を使って理科大に通う人がたくさんいると思えない。デマンドばかりになると山陽小野田市の公共交通は廃れてしまうような気がする。

山田伸幸委員 大動脈をどこにするかということ。その間に結節点を幾つも設けて、その周辺部を網の目のようにデマンドタクシーでつなげたらどうかということ。

杉本保喜委員 理科大は多い時間帯がある。データがないのは一番悪い。

岩本信子委員 厚狭駅から理科大までの間には市民病院やサンパークもあるので、それらを経由する大きな動脈を1本つくってはどうか。

山田伸幸委員 大動脈を通して、そこに人が集まるところの結節点を幾つも造ったらどうかという提案である。例えば渡場から市民病院までの経路等は大事なので、小型バス等を残してもいいとは思う。

中村博行委員長 公共交通網計画には埴生の人口集積や将来像等、多くのデータが掲載されているが、この図にはそれが有効に表れていない。玉野市を視察して、これでは駄目だというのが現実だと思う。

杉本保喜委員 一番欠けているのが、市民に対するアンケートを再三とっていないということ。環境が変化すると利用度も変わってくるので、いつまでも既成路線にとらわれすぎてはいけない。

山田伸幸委員 産業建設常任委員会でこれまで蓄積してきたものがあるので、ある程度の提案もしなければならない。

長谷川知司副委員長 このたびの議会報告会での意見交換会については、資料4だけでいいと思う。それで市民の声を聞いて、産業建設常任委員会が政策提言をすべきだと思う。

山田伸幸委員 まだ案としてはまとまっていないが、厚狭地区のデマンド交通のこともきちんと説明すべきだと思う。特に小野田の南のほうでは実態が分からないので、その実情を報告すべきではないかと思う。

長谷川知司副委員長 それは大事だと思う。資料4の図面の中にあるので、
パワーポイントで説明ができると思う。

松尾数則委員 議会報告会で意見を聞いて、9月までに政策提言を出すとい
うことか。

中村博行委員長 当初からその予定で話をしている。まとめさせてもらうと、
議会報告会では資料4のみということ。デマンド交通については、厚
狭で市民懇談会が開催されたときの資料をもう1度見てみようと思う。
あとはそれぞれに持っている資料を用意していく。

杉本保喜委員 デマンド交通の費用対効果が大切だと思うので、そのデー
タを商工労働課からもらう必要があると思う。デマンドばかりにすると
赤字になるという話にもなりかねない。

中村博行委員長 委員会の中でも説明があったと思うが、1路線で700万
掛かっている。現実問題として全部デマンドというのは難しいと思う
が、委員会としてはそういうものも加味しながら提言していかなけれ
ばならないと思う。

杉本保喜委員 デマンド交通の現状を市民に知らせておく必要があると思う。
市民がそれぞれで判断して、難しいかどうかということを考えていた
だく必要もあると思う。

松尾数則委員 デマンドにもいろいろあって、例えば山口市は自治会単位と
いう流れもあるし、もしそこまで行くと話がまとまらないかもしれな
いので、現状の山陽小野田市の在り方を示す。

中村博行委員長 議会報告会については広報広聴特別委員会でそれぞれの委
員会の役割があるので、それを受けて再度検討をしていきたいと思う。

2 閉会中の継続審査事項について

地方卸売市場の調査を加えることとした。

平成29年6月23日

産業建設常任委員長 中村博行